

2009年度中間期決算説明資料

2009年11月



セブン銀行



中間期決算ハイライト

1頁

中期経営計画の進捗

5頁

損益状況

2頁

財務状況

6頁

利用件数とATM受入手数料単価

3頁

安定的な資金調達

7頁

ATM設置の状況

4頁

参考資料

8頁～16頁

本資料には、株式会社セブン銀行の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しています。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATM事業及び金融サービス事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。

➤ **上期は増収増益実現**

～ 厳しい個人所得環境を映じ、収益は期初計画比未達

➤ **通期計画は、上期実績、足下の状況を踏まえ減益予想に修正**

～ 下期も個人所得の厳しい状況は続く

～ 貸金業者の事業環境の悪化は期初想定を上回るペースで進む

➤ **中間配当は期初予想通り2,450円
期末配当は期初予想2,450円を据置**

損益状況

(単位: 億円)

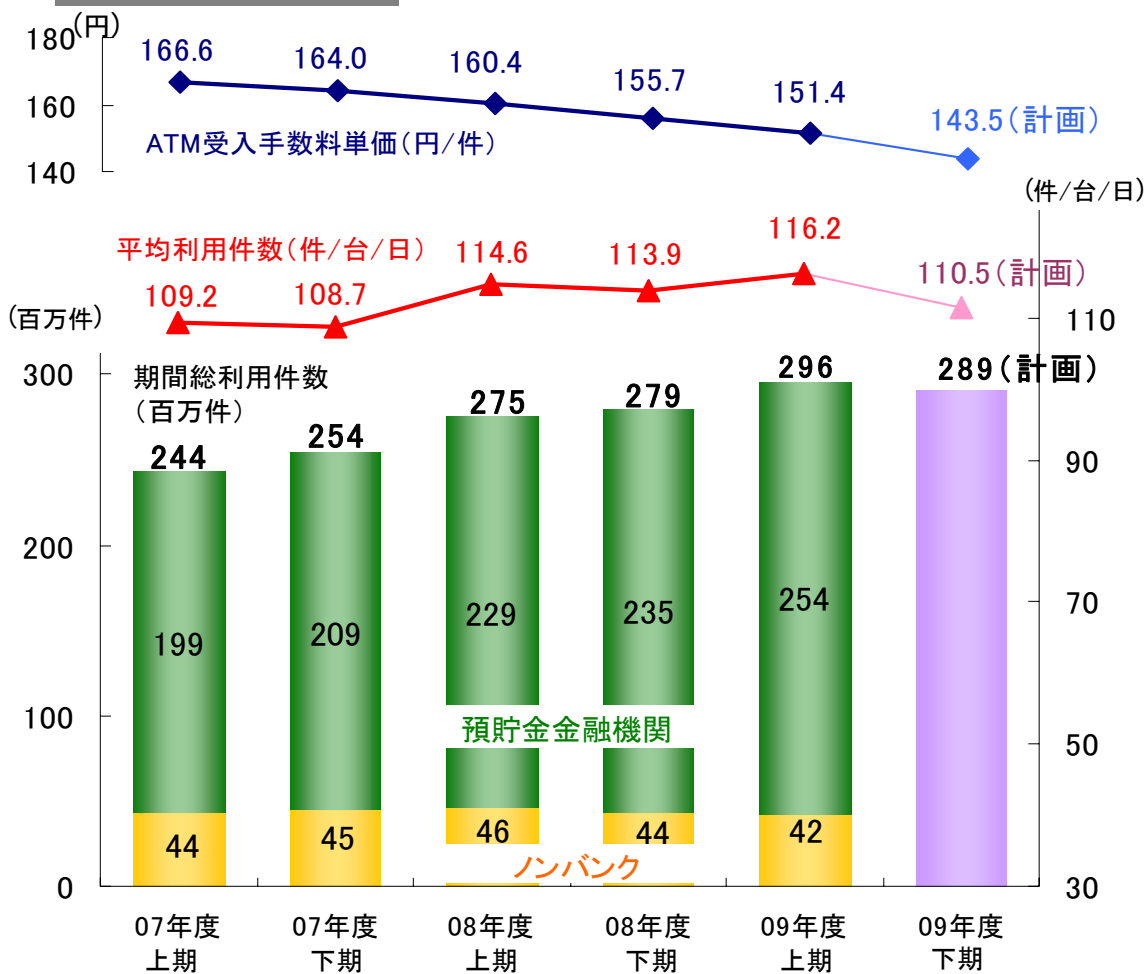
	08年度		09年度		09年度		09年度	
	実績	上期	期初計画	上期	上期実績	前年差異	修正計画	前年差異
経常収益	898	452	915	463	456	+4	871	△ 27
うちATM受入手数料	855	430	876	444	438	+8	836	△ 18
経常費用	610	299	611	304	293	△ 6	596	△ 14
うちATM設置支払手数料	85	42	92	45	44	+2	89	△ 4
うち業務委託費	139	68	142	71	70	+2	141	+2
うち保守管理費	35	17	39	20	19	+2	38	+3
うち土地建物機械賃借料	28	15	24	12	12	△ 3	24	△ 3
うち減価償却費	154	71	130	62	62	△ 9	129	△ 24
経常利益	287	152	303	159	163	+10	274	△ 13
特別損益	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0	0
法人税等合計	117	62	123	64	66	+4	111	△ 5
当期純利益	169	90	180	94	96	+5	162	△ 7
期末ATM設置台数(台)	13,803	13,307	約14,550	約14,100	14,188	+881	約14,550	+747
ATM受入手数料単価(円)	158.0	160.4	148.5	151.4	151.4	△ 9.0	147.4	△ 10.6
平均利用件数(件/台/日)	114.3	114.6	116.6	117.4	116.2	+1.6	113.4	△ 0.9
総利用件数(百万件)	555	275	602	299	296	+21	586	+31

注 計数は全て単位未満切捨て

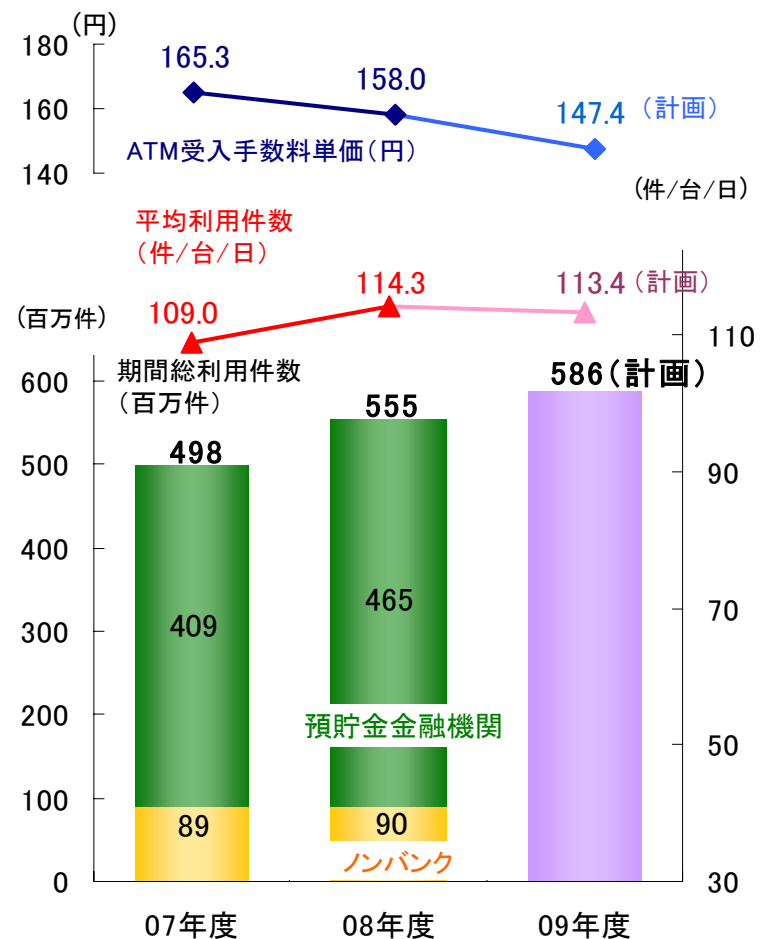
前年差異は百万円単位(総利用件数は千件単位)で比較し、単位未満切捨て

利用件数とATM受入手数料単価

半期推移

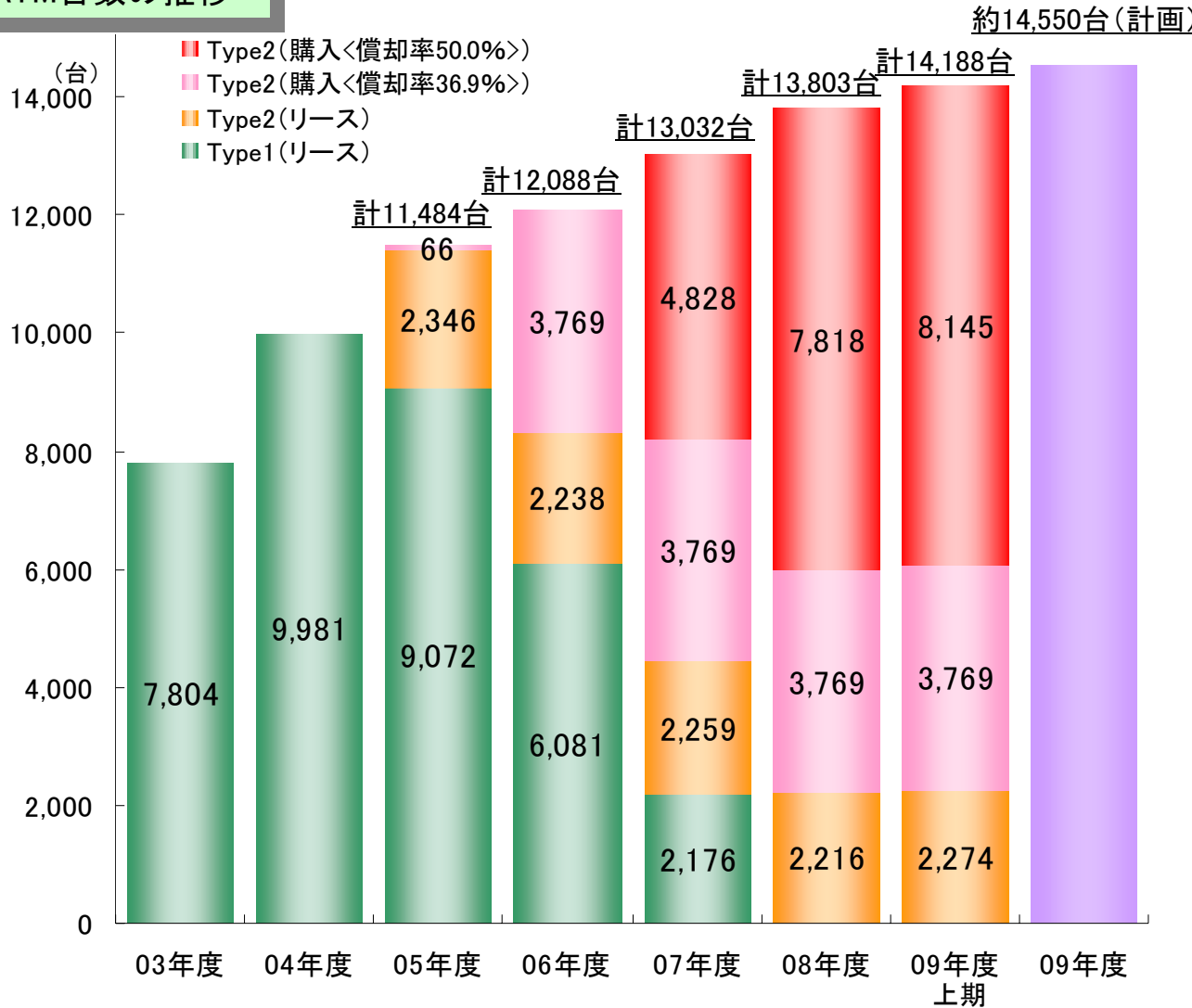


年度推移



注1 平均利用件数、総利用件数は残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を除くベース
 注2 期間総利用件数は単位未満切捨て、平均利用件数、ATM受入手数料単価は小数点第2位以下切捨て
 注3 ATM受入手数料単価は、ATM受入手数料÷(総利用件数-ATM受入手数料収入を伴わない利用件数<売上金入金等>)で算出
 注4 本資料におけるノンバンクは、証券会社、生命保険会社、その他金融機関の合計

ATM台数の推移



09年度上期純増台数

	09年度 上期	09年度 計画
合計	385	約750
7&iグループ内	317	約600
SEJ新規	171	
SEJ2台目	137	
その他	9	
7&iグループ外	68	約150
空港	3	
ホテル	3	
交通系	21	
商業施設	42	
企業内	2	
病院	1	
金融機関	△4	

注 台数は年度末(09年度上期は9月末)の稼働台数ベース

●ATM設置場所に新たな拡がり

- 駅（駅構内、駅併設コンビニ）
 ～JR東海の駅、駅コンビニへの拡大
 ※京急線各駅（約80駅）にもセブン-イレブンと共に新店予定
- チェーン展開先
 ～家電量販店、商業施設、アウトレットモール等への拡がり
- 機能優位性を活かした展開
 ～海外カード取扱いの優位を活かした空港制限エリアへの設置



東京駅一番街(1F)



ヨドバシカメラ秋葉原店



ビルボードプレイス(新潟)



成田空港制限エリア
(09年10月稼働開始)

●ATM事業の多角化

- 受託案件は未始動なれど、派生的な取組みが進む
 - ① 企業内ATMの肩代り
 - ② 単独ATMコーナー展開準備（銀行撤退跡地の有効活用）
 - ③ ノンバンクとの共同ATMコーナー始まる
 ～エポスカードATMコーナー



エポスカード渋谷南口

●小口金融サービス

- 個人向けローンサービス開始（10年1月予定）
 ～約73万の口座保有者を対象（09年9月末時点）
 約10万円の貸出枠を設定（金利：15%）
 アコム株式会社が信用保証し、貸倒リスクはなし
- ※口座基本機能と位置づけ、残高目標は掲げず

財務状況(09年9月末貸借対照表)

(単位:億円)

現金	2,696 (Δ 47)
コールローン	350 (+ 60)
有価証券	894 (+ 5)
ATM仮払金等	647 (+ 18)
有形固定資産	134 (Δ 25)
無形固定資産	151 (+ 3)

預け金
92 (+30)

繰延税金資産12
貸倒引当金Δ1

資産 4,978
(+ 44)

預金(個人)	1,210 (+ 74)
預金(法人)	821 (+ 76)
譲渡性預金	153 (Δ 259)
借入金	480 (Δ 210)
社債	900 (+ 300)
ATM仮受金等	367 (+ 0)
資本金	305 (+ 0)
資本剰余金	317 (+ 0)
利益剰余金	422 (+ 61)

負債
3,932
(Δ 17)

純資産
1,046
(+ 62)

その他有価証券評価差額金 0.2
新株予約権 0.8

負債+純資産 4,978
(+ 44)

ATM装填用現金
ATM台数増加に伴い増加

為替決済、日本銀行当座貸越取引の担保として必要な有価証券

(ATM仮払金)
提携先のお客さまの出金取引時に、提携先に代り資金をお支払いすることにより一時的に発生するもの(翌営業日に資金決済。期末日が休業日の場合、決済ができないことから増加)
なお、ノンバンク分は当社法人口座で当日中に決済するため、原則として、B/SにATM仮払金の残高が残ることはない

主にATM

ソフトウェア、ソフトウェア仮勘定

流動性預金: 1,458億円
定期性預金: 571億円
その他: 2億円

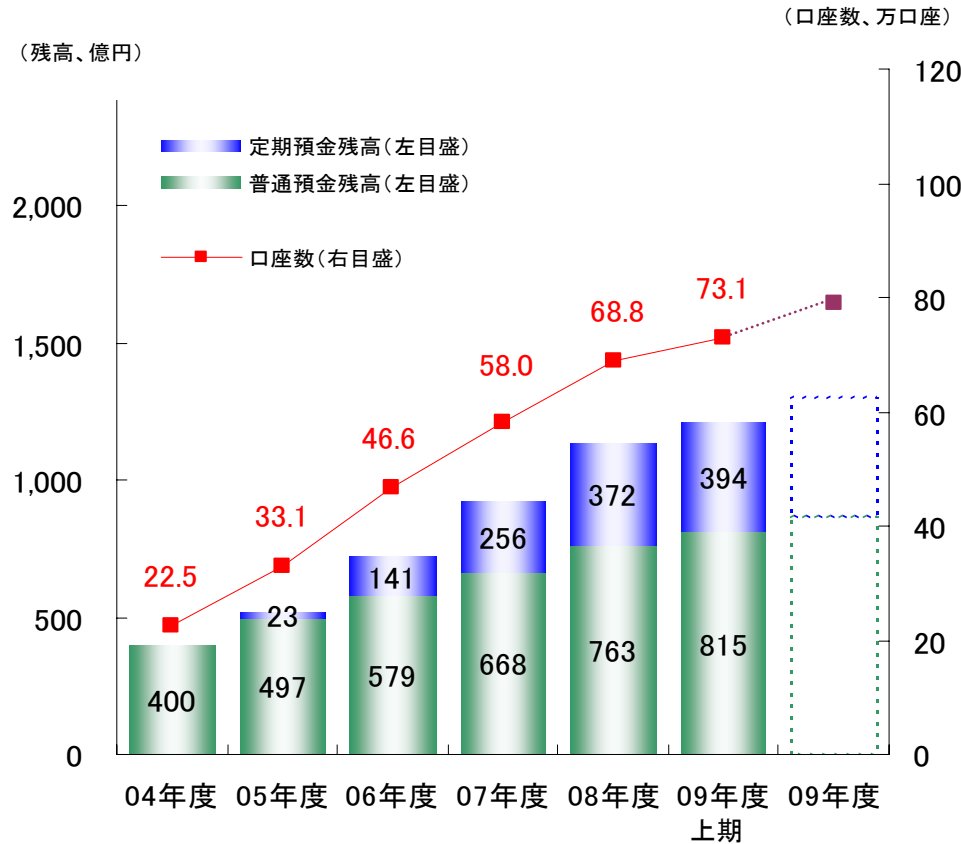
2回債(06年発行)360億円(5年)
3回債(06年発行)240億円(7年)
4回債(09年発行)100億円(3年)
5回債(09年発行)200億円(5年)

(ATM仮受金)
提携先のお客さまの入金取引時に提携先に代り一時的にお預かりするもの

注()は09年3月末との比較。百万円単位で比較し、単位未満切捨て

- 複数の調達方法の組み合わせによる安定調達
- 預金残高は堅調に増加

セブン銀行口座(個人)の状況



注 残高・口座数は年度末(09年度上期は9月末)の計数

財務健全性と高い信用力

単体自己資本比率(国内基準) 47.25%(速報値)
 格付(09年9月末現在) S&P AA-(長期発行体)
 R&I AA (発行体)

今後の長期性資金の償還、返済時期・金額

(単位: 億円)

		社債	借入金	合計
09年度	下期	0	190	190
10年度	上期	0	0	0
	下期	0	120	120
11年度	上期	0	0	0
	下期	360	0	360
12年度	上期	100	0	100
	下期	0	0	0
13年度以降		440	170	610
償還・返済金額合計		900	480	1,380

09年7月に社債発行

- ・第4回債 100億円(3年、0.744%)
- ・第5回債 200億円(5年、1.038%)

Appendix

基本情報 本社所在地 東京都千代田区丸の内1-6-1
 主要業務 ATM事業／金融サービス事業

主要データ 純資産額 1,046 億円
 (2009年9月末) 資本金 305 億円
 ATM台数 14,188 台
 有人店舗 6 店
 従業員 323 人

設立のコンセプト **みんなのATM**

いつでも 24時間365日
どこでも 日本全国
だれでも 国内約560の提携金融機関
 海外発行カード
安心して 衆人環視、高セキュリティ

沿革 2001年 4月 アイワイバンク銀行設立
 2005年10月 セブン銀行に社名変更
 2008年 2月 ジャスダック証券取引所上場

主要株主(2009年9月末)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
(株)セブン-イレブン・ジャパン	353,639	28.98
(株)イトーヨーカ堂	146,961	12.04
(株)ヨークベニマル	52,400	4.29
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	39,725	3.25
(株)ライフフーズ	30,000	2.45
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	27,181	2.22
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	18,152	1.48
(株)三井住友銀行	15,000	1.22
第一生命保険相互会社	15,000	1.22
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	13,991	1.14

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
7&i HD関連企業	583,000	47.78
金融機関	218,769	17.93
金融商品取引業者	13,012	1.06
その他法人	82,841	6.79
外国法人等	218,692	17.92
個人・その他	103,713	8.50

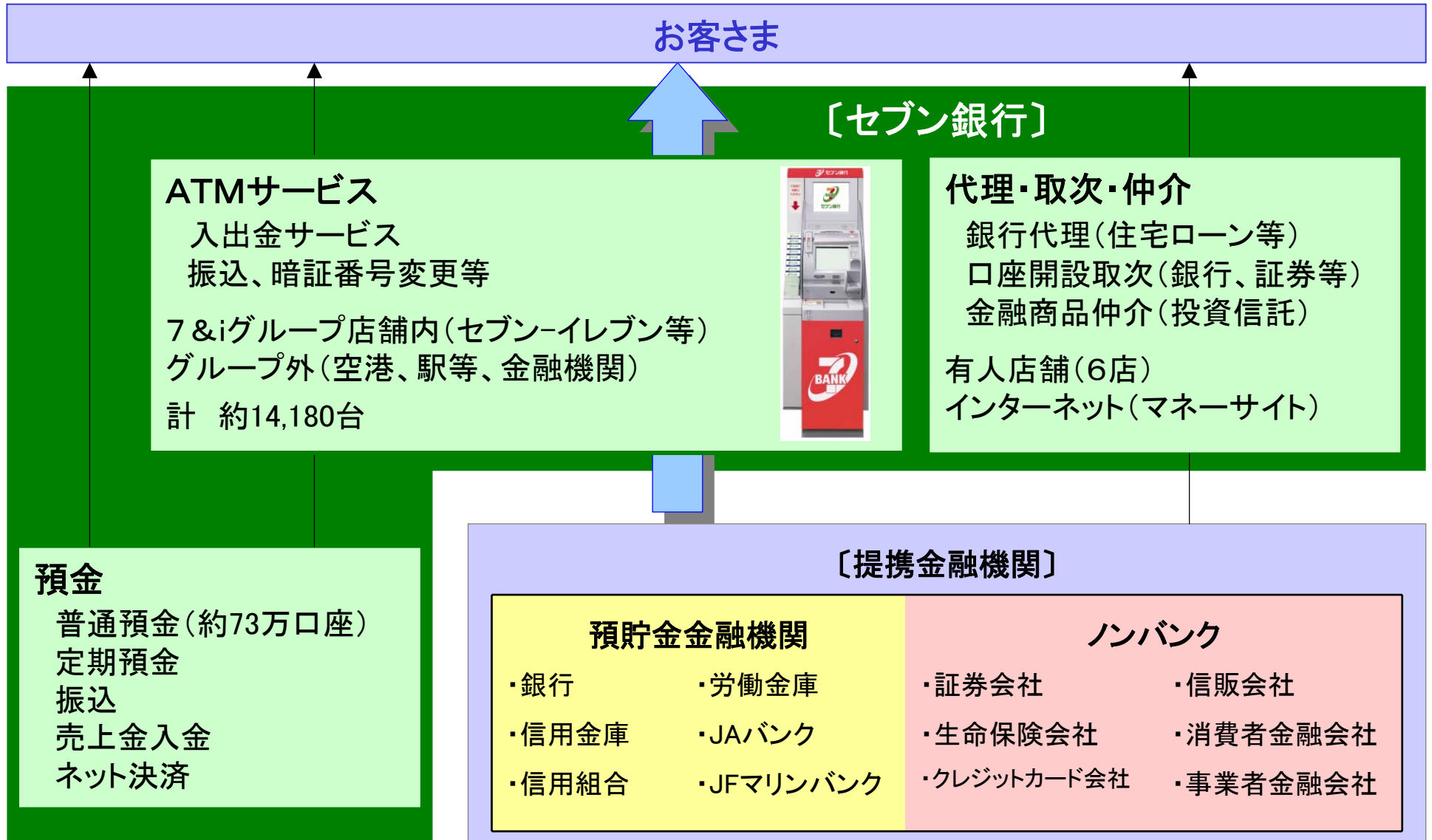
注1 持株比率は小数点第3位以下切捨て
 注2 橙色の網掛けは7&i HD関連企業
 注3 その他法人には7&i HD関連企業含まず

損益の推移(設立来)

単位: 億円

	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
経常収益	19	115	291	479	646	754	836	898
うちATM受入手数料	18	113	289	458	619	731	801	855
経常費用	140	197	260	378	452	504	590	610
うちATM設置支払手数料	3	11	22	35	45	61	77	85
うち業務委託費	51	70	85	120	144	137	137	139
うち保守管理費	3	8	11	30	25	29	34	35
うち土地建物機械賃借料	20	34	46	63	75	67	47	28
うち減価償却費	16	26	31	35	43	54	114	154
経常利益	△ 121	△ 81	30	100	194	250	246	287
特別損益	0	0	△ 1	△ 1	△ 28	△ 40	△ 13	△ 0
法人税等合計	0	0	△ 21	△ 9	60	83	95	117
当期純利益	△ 121	△ 81	50	108	105	126	138	169

注 単位未満切捨て



A銀行のお客さま



A銀行画面



ATM受入手数料

A銀行



ATM利用手数料
(口座保有銀行が決定)

お客さま(利用者)のメリット

- 時間・場所の利便性
24時間365日営業するコンビニ店舗内等
全国的なネットワーク、ほとんどのカードが使える
使い慣れたいつもの画面
- 安心・安全

ATM提携金融機関のメリット

- 自行ATMと同様に活用
ATM利用手数料はそれぞれの銀行戦略で決定
自行優遇制度の一環として活用
自行ATM同様の画面等を提供
- ATMネットワークのバックアップとして活用
- ATMの維持メンテナンス・資金調達コスト削減

1. 個人情報を守るデザイン

テンキー: 入力暗証番号が掌で隠れる
操作画面: 斜め後ろから取引内容が見えない

2. 高度な防犯機能

暴力的な強奪に、インクで紙幣を染める
取引時の写真を撮影するカメラ
電文を盗聴からまもるトリプルDES暗号

3. ICカード利用可能

4. 暗証番号変更・利用限度額変更

5. 画面を利用した広告・警告

6. 提携金融機関ごとの画面表示

カードを挿入するだけでお客さまが見慣れた各提携銀行のATMと同様のオリジナル画面を表示



7. 電子マネーへの入金



(nanacoカード)

8. 海外カードを利用可能

海外発行のキャッシュカードやクレジットカードで円の引出しが可能

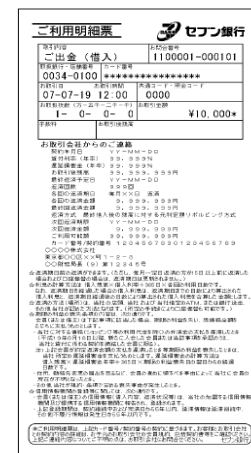


9. 視覚障がい者も利用可能

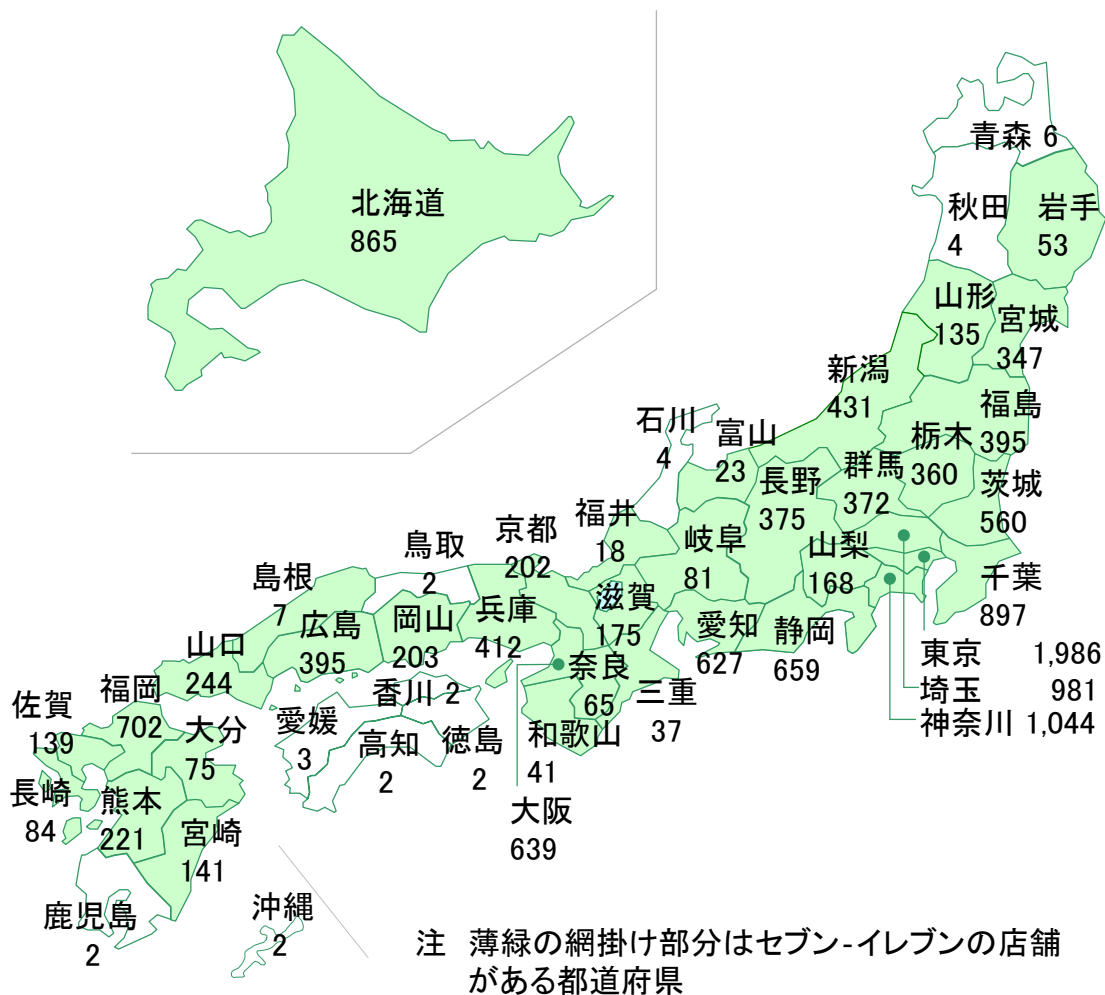
音声ガイダンスに従ってインターホンで操作できる機能を装備

10. 貸金業法定書面を印字可能

提携先に代わって貸金業法で求められる書面を印字可能

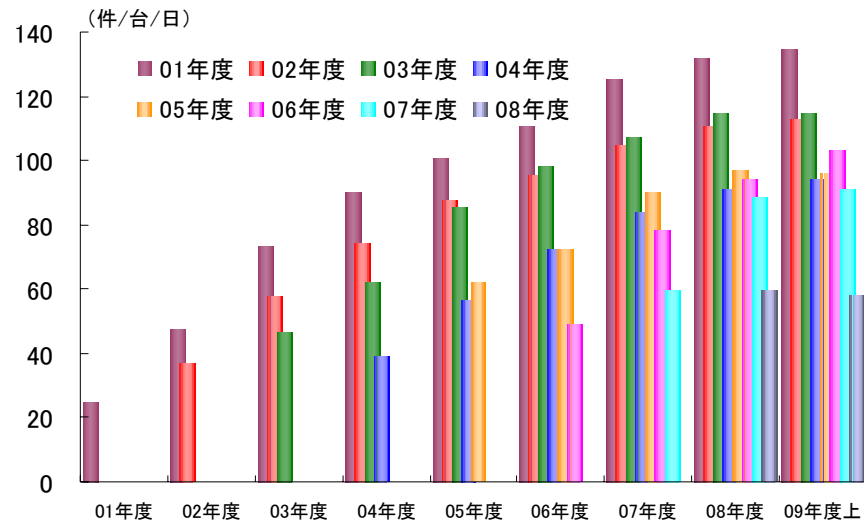


都道府県別ATM台数(09年9月末現在)



展開時期別平均利用件数推移

(対象はセブン-イレブン展開地域のみ)



▽ 対象地域

01年度	東京・埼玉・千葉・神奈川・静岡・大阪・兵庫
02年度	栃木・長野・愛知・滋賀・京都・福岡
03年度	福島・茨城・新潟・広島・熊本
04年度	北海道・山形・群馬・岡山・山口・長崎
05年度	宮城・山梨・岐阜・三重・佐賀・宮崎
06年度	青森・岩手・奈良
07年度	和歌山・大分 (野村證券への設置により展開地域は全国に拡大)
08年度	富山・福井・島根

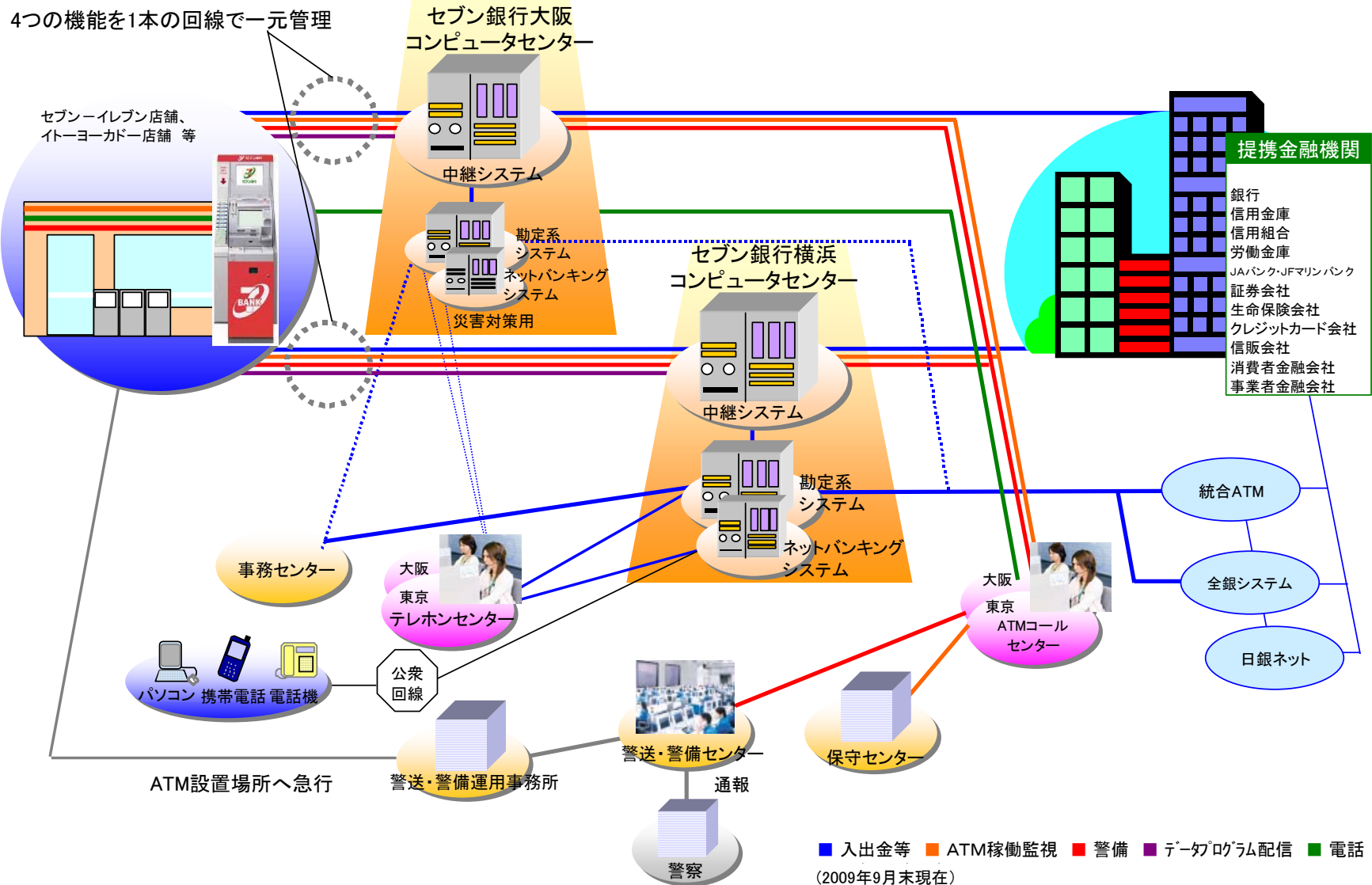
	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度 上期
銀行計	7	15	27	50	63	80	92	95	97
都市銀行	3	5	5	5	4	5	5	5	5
地方銀行	3	9	19	41	54	69	76	77	79
その他	1	1	3	4	5	6	11	13	13
信用金庫	–	–	240	241	255	263	260	264	263
信用組合	–	–	–	117	122	124	122	127	127
労働金庫	–	–	–	13	13	13	13	13	13
JAバンク	–	–	–	–	1	1	1	1	1
JFマリンバンク	–	–	–	–	1	1	1	1	1
証券会社	2	2	2	2	5	8	8	8	8
生命保険会社	–	4	5	5	6	8	8	8	8
その他金融機関 <small>(消費者金融、クレジットカード会社等)</small>	–	27	35	41	47	50	49	49	43
合計	9社	48社	309社	469社	513社	548社	554社	566社	561社

注1 「セブン銀行」は提携先数には含まず

注2 07年10月に民営・分社化したゆうちょ銀行は、銀行のうち「その他」に含む

注3 JAバンク、JFマリンバンクは各々業態として1つとしている

4つの機能を1本の回線で一元管理



社是

1. 私たちは、お客さまに信頼される誠実な企業でありたい。
2. 私たちは、株主、お取引先、地域社会に信頼される誠実な企業でありたい。
3. 私たちは、社員に信頼される誠実な企業でありたい。

経営理念

1. お客さまのニーズに的確に応え、信頼される銀行を目指します。
2. 社員一人一人が、技術革新の成果をスピーディーに取り入れ、自己変革に取り組んでいきます。
3. 安全かつ効率的な決済インフラの提供を通じて、我が国の金融システムの安定と発展に貢献します。

倫理憲章

＝ 当社が遵守すべき倫理上の規範、経営判断に際し常に拠り所となるもの

1. 銀行の公共性・社会的責任の自覚
2. お客さま第一主義の実践と時代のニーズに合ったより高い利便性の提供
3. 誠実・公正な行動
4. 社会とのコミュニケーション
5. 人間性の尊重

コンプライアンス遵守基準

1. ルールは守る。
2. 約束を守る。
3. 嘘はつかない。
4. 事実は隠さない。
5. 機密は守る。
6. 迷惑はかけない。
7. 公私混同しない。
8. 不正は許さない。
9. サービス業の原点を忘れない。
10. 自らの言動に責任をもつ。